

「長寿社会における生涯学習政策フォーラム2012in東京」

参加者アンケート集計結果

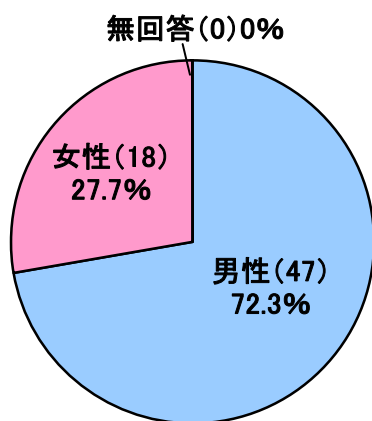
平成24年10月2日(火)開催 (文部科学省講堂)

主催:文部科学省

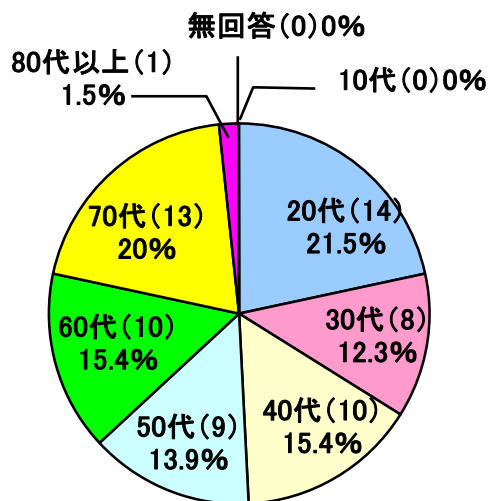
1. 回答者の属性 (N=65)

※参加者数113人、回答率57.5%

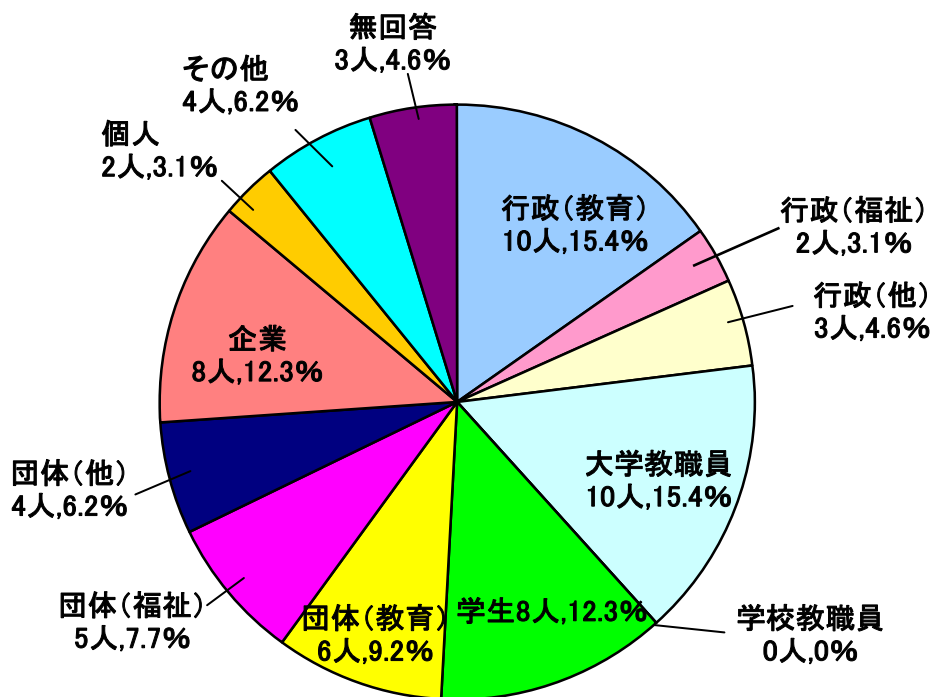
(1) 性別



(2) 年齢



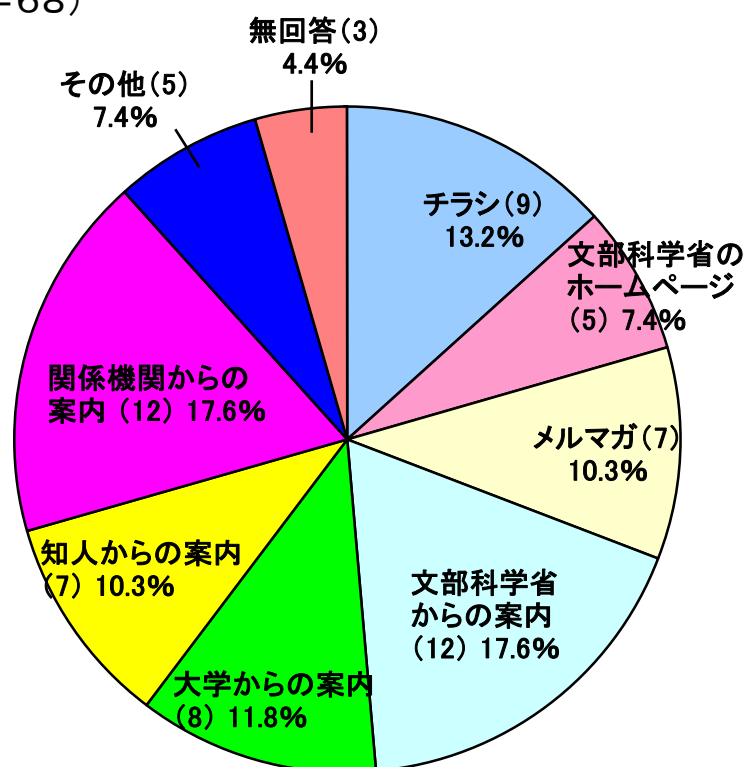
(3) 職業



(4) 居住地

都道府県	人数	%
東京都内	28	43.1%
関東地方(東京以外)	28	43.1%
北海道	0	0%
東北地方	1	1.5%
中部地方	3	4.6%
近畿地方	3	4.6%
中国地方	0	0%
四国	0	0%
九州・沖縄	1	1.5%
無回答	1	1.5%
合計	65	100%

(5) このフォーラムについて、何を通じて知りましたか。(複数回答可) (N=68)

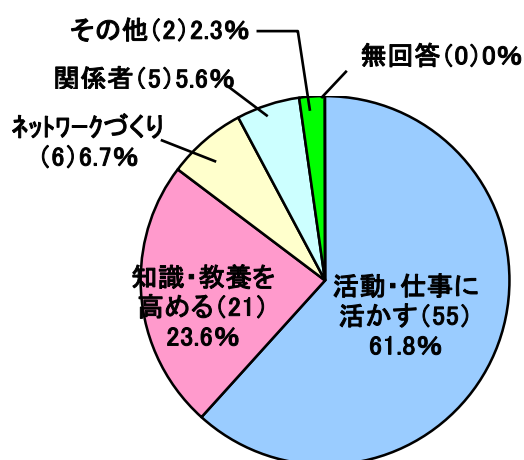


その他

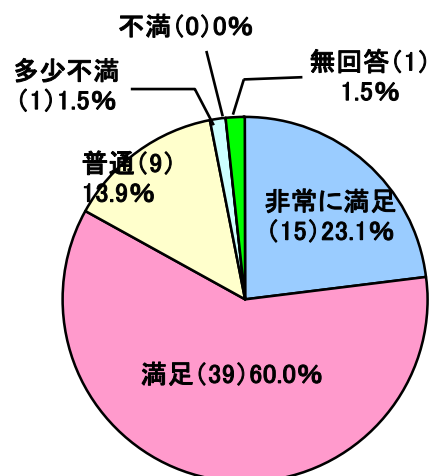
- ・ twitter
- ・ 指導教諭からの案内
- ・ 区役所からの案内
- ・ 協会からの案内
- ・ 社会教育通信協会からの案内

2. フォーラムについて

(1)本フォーラムに参加した「目的」をお答えください。(複数回答可) (N=89)



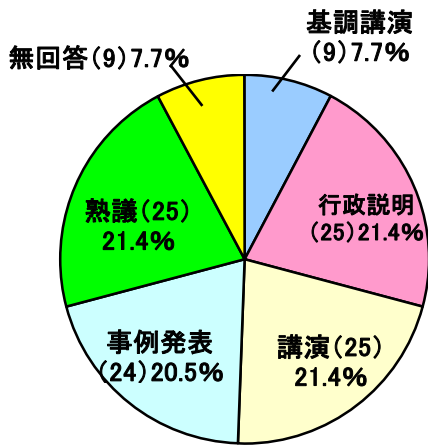
(2)本フォーラム全体を通じての評価をお願いします。(N=65)



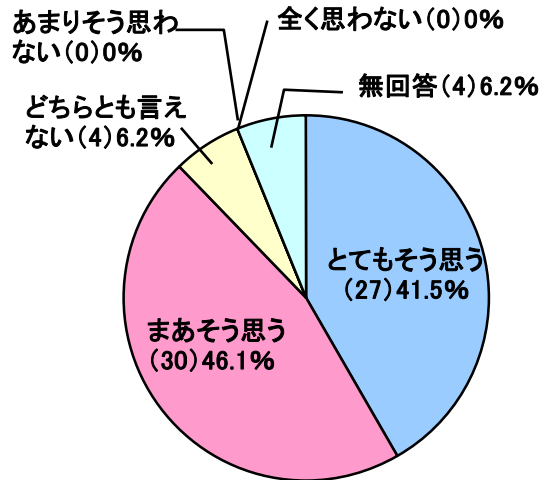
(全体についてのコメント)

- ・盛り沢山の内容で色々なことを知ることができ、充実していた。
- ・熟議で様々な方と話すことができ、参考となる意見が聞けた。
- ・介護予防の観点からの生涯学習の事例が多く紹介され、大変参考になった。
- ・個人的には良かったが、仕事柄福祉政策の充実に目が向いてしまう。「生涯学習」の持つ地域づくりや「楽しさ」ということの大切さを学ぶ良い機会だった。
- ・人生100年が現実的なことと理解でき、高齢者の生涯学習、社会貢献をテーマとした事業を展開する必要性を感じた。
- ・現状説明、講演での研究発表(学問)、事例(実践)と構成がとても良かった。
- ・次年度以降も開催して欲しい。
- ・たいへん勉強になった。
- ・様々な内容で有意義だった。
- ・このようなテーマでの協議は、これまでなく、非常に有意義であった。
- ・詳しい資料とメディアの活用が良かった。
- ・各方面からの貴重な情報が多く刺激を受けた。
- ・高齢者の社会貢献が重要なことは理解できたが、行政の働きかけだけでは動きにくいので、どのようにサポートすれば良いかも知りたい。
- ・行政説明で、個別施策や翌年度概算要求の話を知ることができた。
- ・事例発表で、もう1事例あると良かった。
- ・基調講演にまとまりがなかった。
- ・アクティブな方々の活動ばかり注目されていたが、地直かつ地味な自治会町内会等地域ベースの活動の方が現実に近いのではないかと。こうした活動は重要であるの言うまでもないが、「生涯学習花ざかり」の一昔前の議論と変わらない。
- ・少し盛り沢山の内容であった。
- ・発表内容、事例が多岐に亘っていたため、まとめて何を学んだかが不明確、不十分であった。
- ・資料が多くて十分に目を通す余裕もなく、説明者の話を聞くのに苦労した。

(3)特に良かったプログラムをお答えください。(複数回答可) (N=117)



(4)フォーラムは、高齢者の地域づくりを促進するうえで、有意義でしたか。(N=65)



(個々のプログラムについてのコメント)

基調講演

- ・ 冗長な感じがした。
- ・ 思想は良いが、ナルクの具体的な活動を説明して欲しかった。
- ・ 生涯学習の目的は学ぶことではなく、生涯学習によって新しい価値感を確立し、実行することという言葉が非常に印象的だった。
- ・ もっと活動についての話を伺いたかった。

行政説明

- ・ たんたんとした説明だった。
- ・ 話が早すぎて聞くのが容易ではなかった。
- ・ 検討会報告書の要旨がまとめられていて、わかりやすかった。

講演

- ・ データが豊富で今後の参考になった。
- ・ 大変参考になった。新しい分野で高齢者に対する認識が深まった。
- ・ 浅井先生の話は高齢者の勇気づけになった。
- ・ 浅井先生のデータが少し古く感じた。
- ・ 生涯学習の効果を見るにあたり、医療費という視点は得心した。
- ・ 柴田先生の話で、高齢者の生きがいの意義を再確認した。(社会貢献)
- ・ ウェルビーイング活動が老年学会の一学問領域の確率のみならず、社会思想の一つとして実生活に入り込んでいく様には大いに勇気をもらった。

事例発表

- ・ 活動内容が参考になった。
- ・ 地域で実践している事例を学ばせて頂いた。
- ・ 今後の事業に役立つ内容であり、とても参考になった。
- ・ 立ち上げの経緯、ノウハウ、苦労した点などの話も伺いたかった。
- ・ 概要ばかりで語りが少なく感じた。
- ・ 「シニア大楽」の取組は参考になった。
- ・ 具体的事例がたくさんあり、活動の参考になった。特にシニア大楽は興味深かった。
- ・ 狭山市SSVCの活動は、高齢者と市民による双方向の満足が得られる活動であると感動した。
- ・ 狭山市SSVCの取組が参考になった。

熟議

- ・非常にユニークで興味あるやり方だった。
- ・他の参加者の貴重な意見を聞き、自分の思いを深めることができた。
- ・大変良い取組と思った。参考になった。
- ・立場、年齢の違う人の意見が聞け、一つの方向性にまとめられたことが面白かった。
- ・さまざまな分野の方々の意見が聞けたことが大変良かった。
- ・話し合いができたのは良かった。周りの方の意見も聞きたかった。
- ・「熟議」の名前が参加しづらいと感じた。
- ・まあまあだった。総括は有意義だった。
- ・なぜ全員熟議に参加するようにしないのか。

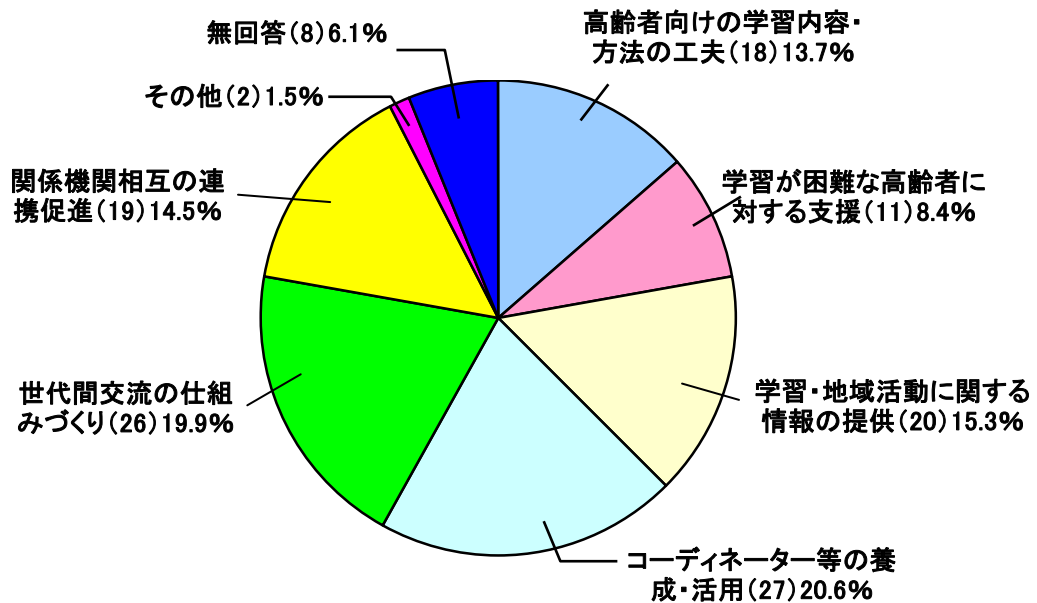
全体

- ・内容が多岐に亘っていたため、もっと一つのテーマを設けて徹底討議、討論が望ましい。
- ・価値の転換については重要で、学校教育の中にも取り入れるべきと思った。

(文科省に行って欲しい取組)

- ・生涯学習の地域への予算を多くして欲しい。
- ・高齢者が活動しだすまでのサポートやその仕組みづくりをお願いしたい。
- ・学びの循環の仕組みづくり等について、ヒントを得られる機会が欲しい。
- ・高齢者(シニア)の就業支援
- ・高齢者の社会参画は、健康づくりという視点もあるべきと考えるので、厚労省と連携した取組を進めて欲しい。
- ・各地の事例、報告会、審議資料を集約したwebページを設置して欲しい。また、他局や他省の政策でも生涯学習に係るものがカバーされているとなお良い。

- (5) 今後フォーラムで取り上げて欲しいテーマについてお答えください。
(複数回答可) (N=131)



(フォーラムに対するご意見、ご要望など)

- ・ 現在、地域社会活性化を目的に取り組んでいる事業の参考になった。
- ・ 受け身の態度で受講したが、勉強して参加すべきと反省した。
- ・ 高齢者の先を進んでいる荒川区にとって有意義であった。
- ・ 非常に良い内容だったので、今後も継続的に実施して欲しい。
- ・ 大変刺激になった。熟議が一番楽しかった。
- ・ 所信表明、活動自慢に近い内容が多く、テーマへの集約性がやや弱かった。しかし、最後の熟議で具体的な議論ができて良かった。
- ・ プログラムの構成、時間配分など参考になった。
- ・ 参加者同士が相互に学びを深めあう熟議の場を設けることが大切だと感じた。
- ・ 現在の日本では、最大の懸念問題ゆえ、国がリードすべきもの。
- ・ 多岐に亘る内容をご教示いただけることに意義はあるが、ある程度重要項目を限定した内容にすれば、印象深く実現に向けた参考になるのではと思った。
- ・ もっと地域の中で(身近な所で)開催できると良かったと思う。
- ・ 実際に参加された方の体験発表もあってもよかった。
- ・ 内容が多すぎた感はあるが、様々な知識・情報が得られたことは良かった。(深く知りたい内容もあったが)
- ・ 実際の社会は雑踏のようであり、そこにモデル事業やガイドラインを当てはめていくことの方がずっと難しい課題と思う。
- ・ 実際に取り組んでいるコーディネーター的役割を担っている人に向けては参画促進につながると思う。しかし、今後ボランティアに参加したいと思っている高齢者にとって、参加しやすいフォーラムだったか疑問。フォーラムの名前に横文字が入っていたり、場所もわかりづらい。
- ・ 少し長くて疲れたので、昼からの開始にして、開催回数を増やして欲しい。